

1/24 未後

社会保障改悪限界なし

社会保障の主な負担増・給付減

75歳から高齢者手当削減
廃止

75歳以上の保険料「特例軽減」
廃止
公的年金の自己責任化引合せ
市町村国保を都道府県による運営に

利用料を1割から2割に(一定所得以上)

「マクロ」改悪で物価下落以上に削減
生活扶助・自立扶助の削減

来年度予算案では、高齢化などで増えた社会保障予算の「自然増」も削りこみ、手当から次第に社会保障の切り捨てを強行します。

介護保険から事業者に支払われる介護報酬は、過去最大級の2・27%引き下げ、介護費用全体で400億円も削減します。労働条件が悪化して人手不足が深刻となり、介護サービス低下を招くのは必至です。

04年に導入した「マクロ経済スライド」は労働人口の減少などを応じて支給額が減らし続ける仕組みを初めて発動します。

これまでなら物価・賃金

（毎10万円の年金で240

0）増えたのですが、

用料を、1割から2割に値上げ（一定所得以上）。70歳以上74歳の医療負担も、新たに70歳になる人から1割を2割に増やします。

年金は、自公政権が20

04年に導入した「マクロ

経済スライド」を廃止し、2倍から10倍の

「患者追い出し」を進める

ことになります。年

金額増を押し付けます。

これから次々と打ち出された

入院時の食費負担を一食

260円から460円に値

上げ、1日600円、1カ

月1万8千円の負担増で、

入院ベッド削減と併せて

徴収強化、医療費削減を押

す。

安倍内閣の暴走はとどま

ることを知りません。年

金額増を押し付けます。

これまでなら物価・賃金

計画は、

市町村が運営する国民健

康保険は、都道府県に移

行。今でも高くて払えない

保険料のさらなる値上げと

介護報酬引き下げ」と批判

が生じたとたんに

年金組合が取り組んだ

年金削減反対の「不服審査

が決まりました。

社会保険のありある分野

で国民負担・給付削減を

前面に押し出し、社会保

障の解体を進めようとしてい

ます。消費税増税は「社会

が圧倒的多数です。国民世

論に背く暴走は、国民との

矛盾や批評を深めている

いません。

社会保険は国民生活の土

台であり、拡充なくして國

民の命も暮らしも守られませ

ん。

私たちには「安心の医療・

介護大運動」で宣伝・署名

行動、自治体アンケートに

取り組み、「署名」行列が

できた」との報告も各地か

ら上がっています。地域・

職場から社会保障拡充の共

同の運動を大きく前進させ

ていきました。

老いも若さも無駄遣い

「自然増」すら削り込み

年改悪の計画次々

署名・共同集会・不服請求

民意・公約にして安倍暴走

安倍内閣が社会保障の切り捨て・大改悪に暴走しています。総選挙では「医療・介護等の充実を図る」(自民党的政策パンフレット)と公約しながら、際限のない社会保障の大改悪に突き進む。民意にも公約にも背く暴走が際立っています。

付ける繕えです。
年の待機者8万人を縮め出
したのに続いて、相部屋で
いた。年間5千円の部屋代を截
り取つて、30年間にわたりて
切り上げ続けた計画です。
介護では、特別養護老人
ホーム入所者を「要介護3
以上」に限り、要介護、
認離職」をいつそう深刻に
するだけです。

「社会保険のため」とい
うことで消費税増税を強行し
て、社会保険を一世紀以上
生き残りましたが、この
ミクスで物価を上昇させ
ながら、支給額を減らす「削
増」は当初8300億円
と見込んでいましたが、こ
れで8600億円になりました。
「高齢化などによる「自然
増」を除くと、支給額を減らす
ことが増えません。アベ
晋三は「自己負担」を掲げて
「医療崩壊」を招きました
30億円のカットです。最
も弱い立場の人から盗まれ
くむじの取引がひどいので
ば、他の税を加算させよ
うとするのです。

社会保険切り捨ての暴走
に深刻な矛盾と批判が広が
っています。昨年末から年始にかけ
て、全国老人福祉施設協議
会など介護施設3団体は、
選舉が終わったとたんに
介護報酬引き下げ」と批判
年金削減反対の「不服審査
が圧倒的多数です。国民世
論に背く暴走は、国民との
矛盾や批評を深めている
いません。

社会保険は国民生活の土
台であり、拡充なくして國
民の命も暮らしも守られませ
ん。

私たちには「安心の医療・
介護大運動」で宣伝・署名
行動、自治体アンケートに
取り組み、「署名」行列が
できた」との報告も各地か
ら上がっています。地域・
職場から社会保障拡充の共
同の運動を大きく前進させ
ていきました。

「輝け！いいのち4・24ヒューマンチェーン」で「社会保障を守れ」と訴える医療・介護労働者ら=2014年4月24日、東京・日比谷野外音楽堂



山口一秀さん

拡充求める声 压倒的

中央社会保障推進
協議会事務局長
安倍首相は、総選挙で得
た「虚構の多数」を背景に
「暴走政治」を続けていま
す。

社会保障のありある分野
で国民負担・給付削減を
前面に押し出し、社会保
障の解体を進めようとしてい
ます。消費税増税は「社会
保険充実のため」との口実
も破綻し、憲法25条の生存
権保障を捨てるもので
す。

しかし、世論調査でも、
安倍政権が進める消費税増
税や集団的自衛権行使容認
に反対が6~7割に達し、
社会保障の拡充を求める声